令和７年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

令和7年6月19日

発　　行：岩手県水産技術センター
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合

付着稚貝が多い状態が続いているため、採苗器の投入を完了してください。

＜調査結果の概要＞

○６/18の唐丹湾の10m深水温は12.1℃、透明度は９mでした。
○唐丹湾では、ホタテガイの殻長200μm未満の小型ラーバが１個/㎥（昨年同時期：８個/㎥）、200μm以上の大型のラーバが34個/㎥（昨年同時期：３個/㎥）出現しました。
○ムラサキイガイのラーバは332個/㎥、キヌマトイガイのラーバは202個/㎥、エゾイシカゲガイのラーバが32個/㎥でした。昨年同時期と比較すると、ムラサキイガイとキヌマトイガイがかなり多め、エゾイシカゲガイが多めでした。
○地域間で差が見られますが、ホタテガイ稚貝の付着が継続していますので、採苗器が残っている場合は、採苗器の投入を完了してください。

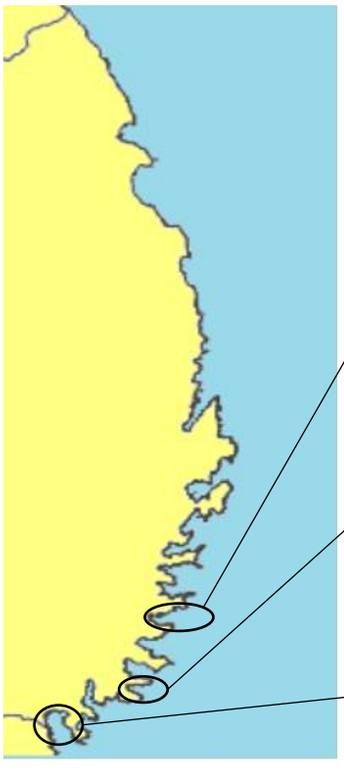

図1　各定点の調査結果
（国土地理院地図　国土地理院HPより）

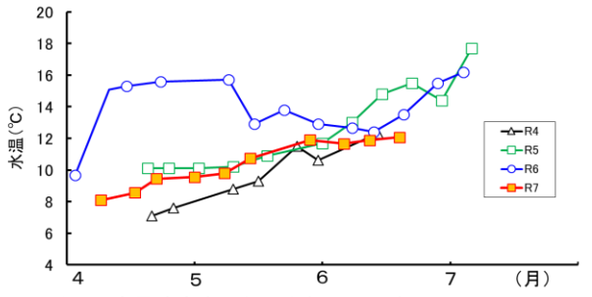

図2　唐丹湾定点における水深10m水温

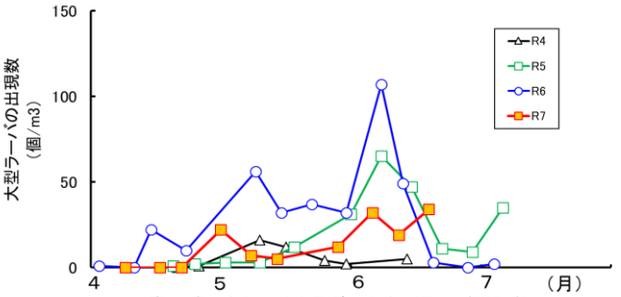

図3　唐丹湾におけるホタテガイの大型ラーバ出現数

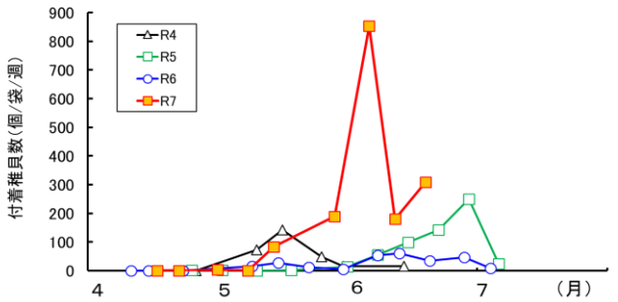

図4　唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数

次報は、６月30日頃に発行する予定です。